

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう
ぎのうひょうかしけん

ひかねつせいすいさんかこうしょくひん
せいぞうぎょう

ちょうりかこうひんせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、
かねつしよりをする とほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが
できない。

○	×
	✓

【ちょうりかこうひんせいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. ひかしょくぶをとりのぞきせいけいしてちょうりしたものを
ちょうりかこうひんという。

○	×
✓	

2. ふらいかこうひんはげんざいりょうにばった一えきをつけて
からばんこをつける。

○	×
✓	

3. かんまんとうけつはれいとうしょくひんのよい
とうけつほうほうである。

○	×
	✓

4. さかなをさんまいにおろすぎよたいしよりきはない。

○	×
	✓

5. れいとうのかいそうもちょうりかこうひんのげんりょうに
つかうことができる。

○	×
✓	

6. たらなどのおおがたぎよのきりみをふらいようにかこうした
せいひんがある。

○	×
✓	

【ちょうりかこうひん せいぞう】

7. ぎょかいるいのれいとうしょくひんには、てんかぶつを
しょうできない。

○	×
	✓

8. れいとうしょくひんはとうけつ ちょぞうちゅうもかびが
はえる。

○	×
	✓

9. しんくうほうそうは、れいとう ちょぞうちゅうのかんそうを
ふせぐことができる。

○	×
✓	

10. えびをげんりょうとするれいとうしょくひんにはえびふらい
やてんぷらなどのせいひんがある。

○	×
✓	